

理事長にインタビュー

理事長

さとう こう
佐藤 剛 先生

「他院で断られるような難症例にも対応可能。」

愛知県岡崎市にある「医療法人白翠会 岡崎駅南デンタルオフィス」は、佐藤剛先生が開院した同市二つ目のクリニックとなります。理事長である佐藤先生は、お若いながらもインプラント治療の臨床経験豊富な気鋭の歯科医師です。

今回はそんな佐藤先生に気になるインプラントのことやクリニックのことなどをお伺いしました。

オペは1本あたり10～15分程度。患者様にとっては通常の歯科治療と同じ感覚

—— まずはいきなりですが、佐藤先生が考えるインプラントの最大のメリットとは何でしょうか？

一度失った歯を再び手に入れることが出来ることです。

入れ歯だと手術が不要で保険適用になりますが、違和感が大きかったり噛めるものに制限が出てしまいます。インプラントの場合は自分の歯があった当時と同じくらいまで噛めるようになります。



ただ噛めるだけではなく自然で美しい口元になるので笑顔にも自信が持てるようになると思いますよ。

—— それでは、実際にインプラントにされた方のお声はいかがでしょう？

皆さん、インプラントをやって良かったと言われます。「こんなに簡単に終わるなら、早くやっておけば良かった」と。最近インプラント治療が終わられた方に、毎日の食事が楽しくなりお陰さまで太りました、と言われました(笑)。

そして、インプラント治療をされた方はお友達やご家族を連れてきてくださる方も多いですね。その良さを実感いただいている証だと思います。

—— 世の中にはインプラントは「何となく怖い」というイメージを持つ方も多いと思いますが、実際のところどうでしょうか？

インプラント治療を迷われている方の多くが怖いと言われているのですが、個人差があるものの、必要に応じて鎮痛薬を出しますので、そこまで不安にならなくても良いと思います。それほどインプラントの性能や



技術が良くなったということだと思います。インプラント1本入れるだけであれば10～15分程度なので、患者様にとっては通常の歯科治療と同じ感覚で受けていただけます。極度に緊張される方、体調に不安な方は麻酔専門医による静脈内鎮静法※でウトウトした状態で施術することもできるので、ご心配なされないように。

※眠くはなりますが、意識はなくなり、自分自身で普段通りに呼吸ができ、呼びかけや刺激に対して反応可能な麻酔です。

インプラント治療に特化、患者様の要望に柔軟に対応

—— それは良かったです！私も結構緊張するタイプなので(笑)。

ところで、佐藤先生はお若いながらもインプラント治療の臨床経験が豊富ですが、常に進化するインプラントの最先端技術や知識をどのように習得していますか？

インプラント学会やスタディグループ(勉強会のグループ)で最新の治療に対応できるように研鑽していますが、海外の著名な先生のクリニックに訪問したりもしています。医療は日進月歩で進化していますので、常に知識のアップデートは必須だと思っています。また、当院ではインプラント症例数が全国的にみてもかなり多い方なので、色んな症例が多く自然と鍛えられましたね。

—— やはり、患者様からすれば、経験を多く積まれている先生に診て欲しいですね。

先生は、患者様とのコミュニケーションをとる上で心掛けている点はどこでしょうか。

初診相談ではその患者様と初対面なので、まずはお話をじっくり聞くということを心掛けています。

しかし、ドクターだと緊張して言いたいことが言えないという患者様もいらっしゃるので、当院にはインプラント治療に特化したトリートメントコーディネーターも在籍しております。お気軽にお話できるような環境作りを目指しています。

インプラント治療はとて素晴らしいものだと思っておりますが、しっかり説明して最終的には患者様に選択していただいております。

—— それでは佐藤先生、ずばり！クリニックの強みはどこでしょうか？

何といっても「インプラント治療」に特化していることです。

当院では、他院で断られたような難症例にも対応することが可能です。院内に自費治療専門の技工所も併設しているので、患者様の要望には柔軟に応えられます。技工士も本場アメリカで学んできたエキスパートですし、もちろん私自身も豊富な臨床経験を持っております。

—— 専門性の高いインプラント治療に特化されているというのは安心できますよね。

ところで全く話は変わりますが、ご多忙だとは思いますが、休日をどのように過ごされていますか？

家族と過ごすことにしています。子供と遊んでいるだけで日々のストレスが解消されますね。休日はなるべく仕事のことを考えずに休むように心掛けています。体も気持ちもリセットされて、次の日から100%診療に励めます。

—— それでは、最後に一つお伺いします。佐藤先生にとって、この仕事の喜びとは何でしょうか？

やはり、何よりも患者様に喜んでもらえるところでですね。「来て良かった」と言われることが仕事をしていて一番充実感がある瞬間ですね。

もともと実家が歯科医院だったので、成り行きで歯科医師になりましたが(笑)、今ではこの仕事を選んで良かったと思っております。決して楽な仕事ではありませんが、苦勞以上に喜びが多い仕事なのではないでしょうか。